

酷暑で熱中症が多発！ 危ないかもしれない対応を！

- ◆ 身体が徐々にしびれ・痙攣が発生、休憩をはさんでも後々状態が悪化するケースが散見
- ◆ 熱中症は動けなくなる・実際に声も出なくなるため、「おかしいな」と感じたら 同僚や上長へ相談を！
- ◆ 周りも「休めば大丈夫だろう。」とは思わず、決してムリをさせない配慮と対処を実践しましょう！

PG 7月熱中症件数 2026年：14※件（2025年：22件）
※AKSiS未登録件名も含まれます



図1 PG 2026年7月 発生日と年齢別

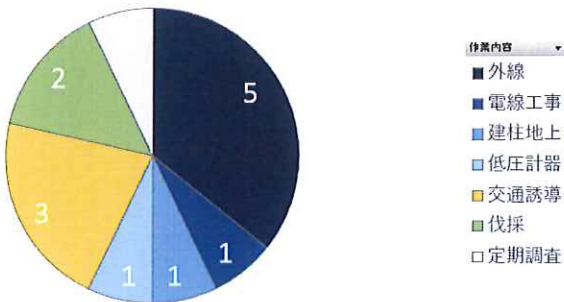


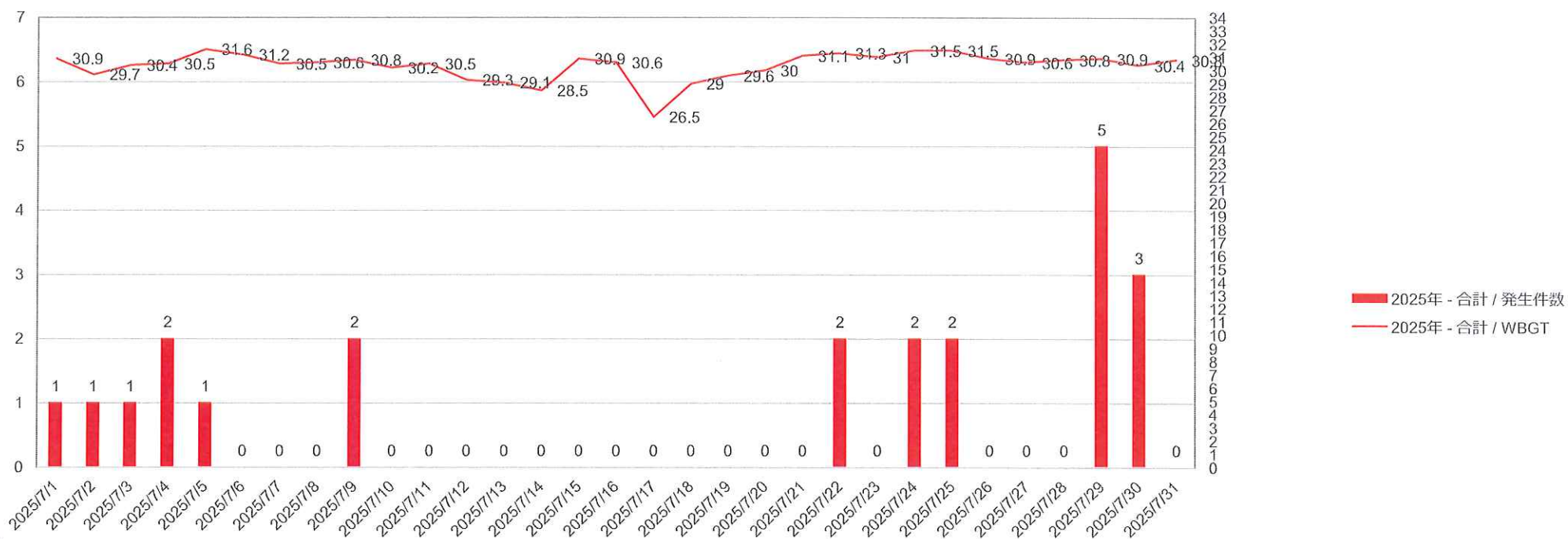
図2 PG 2026年7月 作業内容別

表 PG 2026年7月発生分 報告様式の内容抜粋

部門	区分	作業内容	レベル	高齢者	連続作業	EF服	時刻	換気	経験年数	WBGT値	気温	湿度
送電	協力会社	伐採	嚴重警戒	高齢者	0~1h	○	17:00	無風	3	30	34	50
配電	協力会社	交通誘導	危険	高齢者	2~3h	○	11:50	無風	36	31.4	35	62
配電	協力会社	建柱地上	危険	—	0~1h	○	9:45	風あり	2	31.7	34.1	62
配電	請負直営	外線	危険	高齢者	1~2h	なし	12:30	風あり	52	33.1	36	51
配電	請負直営	外線	危険	—	0~1h	○	12:00	風あり	3	33	35.3	67
配電	請負直営	外線	危険	—	1~2h	なし(忘れ)	10:35	無風	1	31.8	31	81
配電	協力会社	低圧計器	危険	高齢者	0~1h	○	15:00	風あり	15	32	38.2	51
配電	協力会社	交通誘導	危険	高齢者	1~2h	○	11:30	風あり	19	32.1	35.5	50
変電	協力会社	電線工事	危険	—	0~1h	○	13:50	0:00	2	31	38	0
配電	協力会社	外線	危険	—	2~3h	○	10:00	0:00	1	33.9	31	79
配電	協力会社	交通誘導	危険	高齢者	2~3h	なし	12:00	0:00	0	34.5	33	70
配電	請負直営	定期調査	危険	高齢者	1~2h	○	14:00	風あり	10	33.3	38.1	43
配電	協力会社	伐採	危険	—	1~2h	○	15:00	0:00	1	31.3	37.1	38
配電	請負直営	外線	危険	高齢者	2~3h	○	15:40	無風	30	32.1	36	77

参考 熱中症災害発生件数推移 (2025年7月)

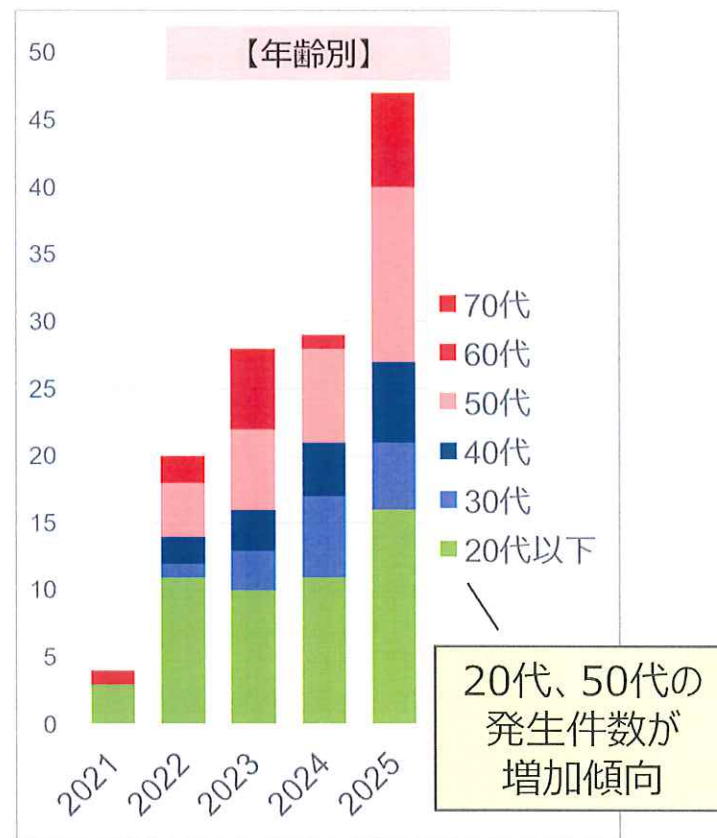
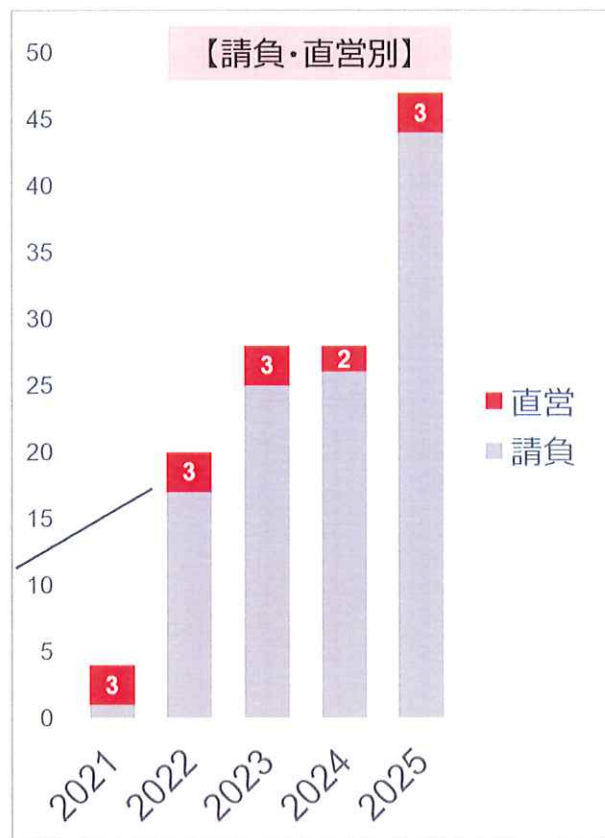
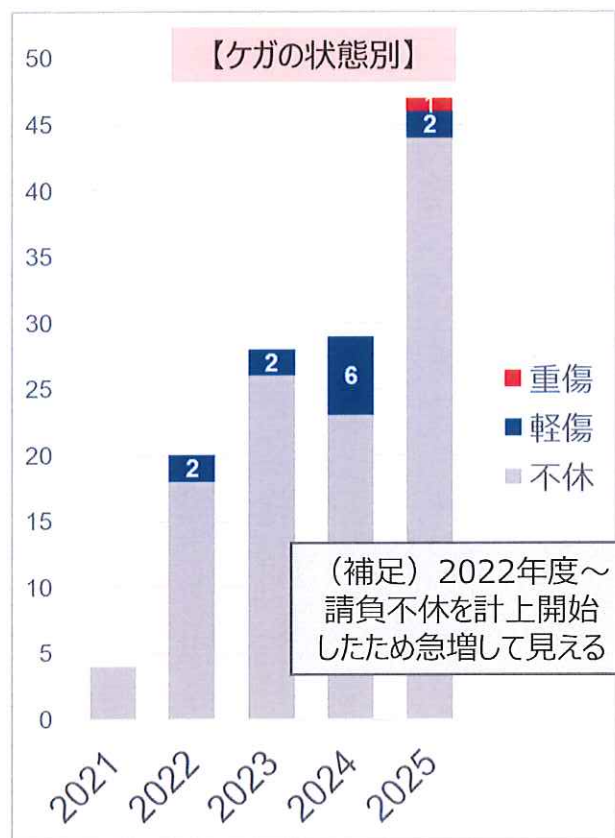
2025年7月 PG熱中症推移「合計 22件」



2025年度
6月27日梅雨明け

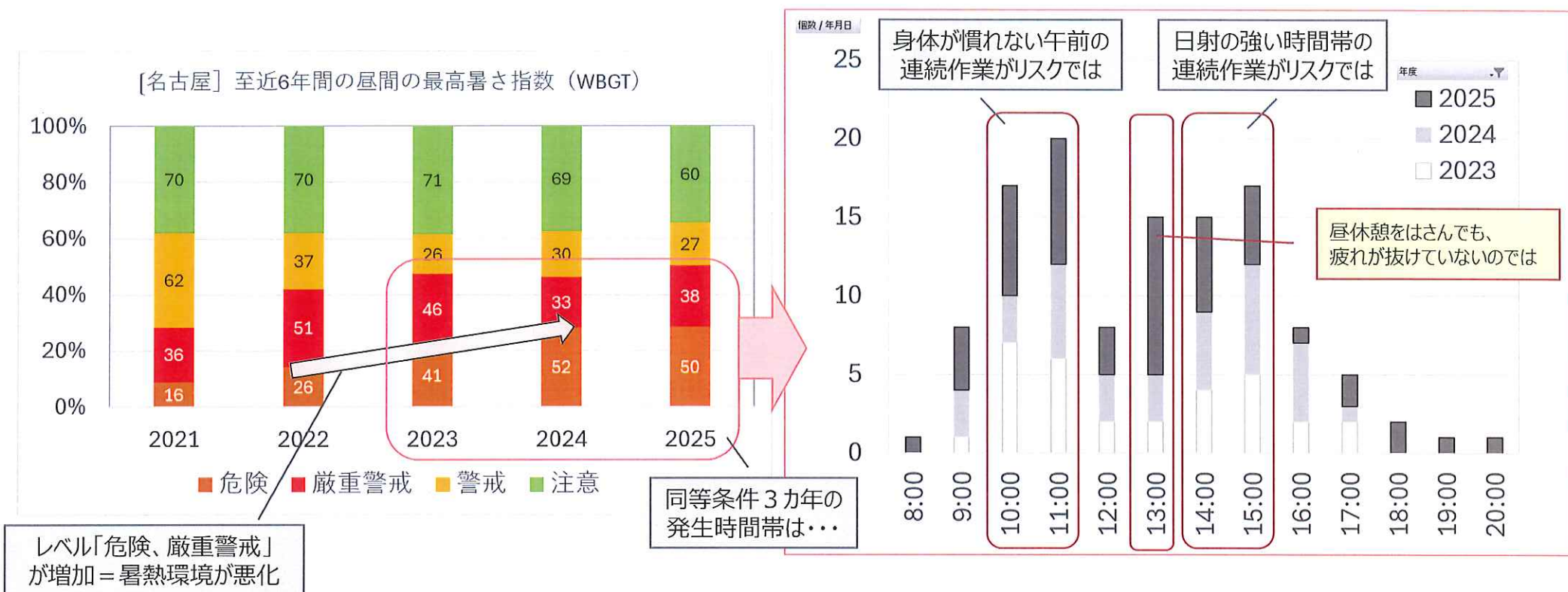
熱中症災害発生件数と内訳（傾向把握）

◆ 熱中症の重篤化は抑止できているものの、不休を含めた発生件数は高止まりしている。



熱中症の発生時間帯（傾向把握とリスク考察）

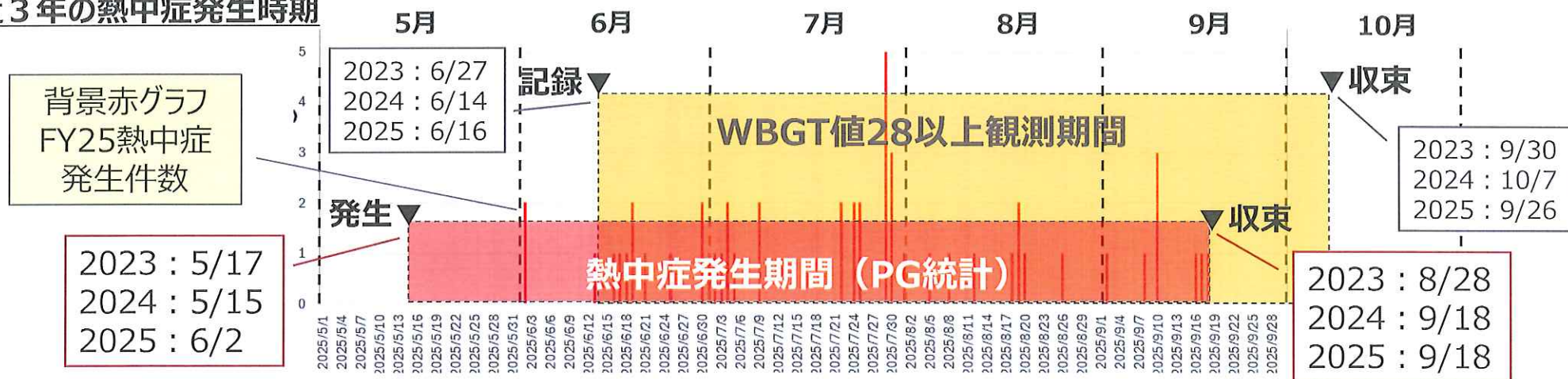
◆ 近年は高いWBGT値観測日が増えている中で、作業着手後の時間帯に発生傾向がある。



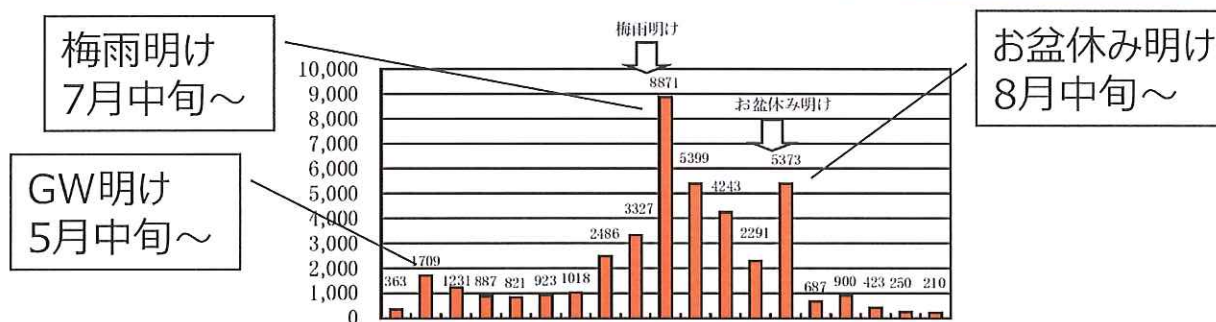
熱中症の発生時期（傾向把握とリスク考察）

◆至近3年の熱中症発生時期をプロットすると、一般的な熱中症災害の発生時期と類似する。

至近3年の熱中症発生時期



総務省消防庁「平成26年 熱中症による救急搬送状況 （週別推移）」



熱中症のリスクと対策方針

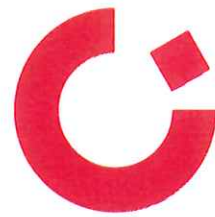
◆過去の傾向分析から考察した熱中症リスクを意識し、対策方針に基づき対策を実践しよう。

- ◆ **2025年度 計47件の傾向分析** **（）内：想定リスク**〔補足〕至近3カ年の傾向が同等であったため、2025年度を代表データとして示す
 - ・ 部門別：配電、送電部門が全体の94%（**過酷な暑熱環境下での作業が多い**）
 - ・ 年代別：50代、20代が多い（**高齢または若年層の発症が多い**）
 - ・ 時間帯：作業着手後、2～3時間後に発症する傾向（次に時間帯別でリスクを分析）
 - ・ 午前：**身体が慣れない午前の連続作業がリスク**
 - ・ 午後：**日射の強い時間帯の連続作業がリスク**
 - ・ 時期：GW明け、梅雨明け、お盆明けの時期に発症しやすくなる傾向（**暑熱順化していないことがリスク**）
 - ・ カテゴリ別：配電工事が22件〔配電工事：交通誘導員11件、外線工事9件、ポリ管2件〕（**負荷の大きな作業がリスク**）
 - ・ 業務別：交通誘導員14件〔請負の32%〕 補足：上記カテゴリ内の配電再掲（**強い直射日光や連続作業、高齢がリスク**）
 - ・ ファン付き作業服の未使用（バッテリー切れ含む）5件（**熱中症対策品となる装備を使わないことがリスク**）
 - ・ WBGT値はすべて28以上で発生。31以上は20代、30代も発生（WBGT値31以上は年齢によらずリスクが高い）
 - ・ その他：前日または直前の負荷の大きな作業疲れが残り発症（**疲れを抜ききれていなかったことがリスク**）
 - ・ 事務作業における地下室内無空調＋重量物運搬時に発症（屋内でも**負荷の大きな作業や無空調がリスク**）

対策方針※

※具体的な施策は本文および別添書類を参照

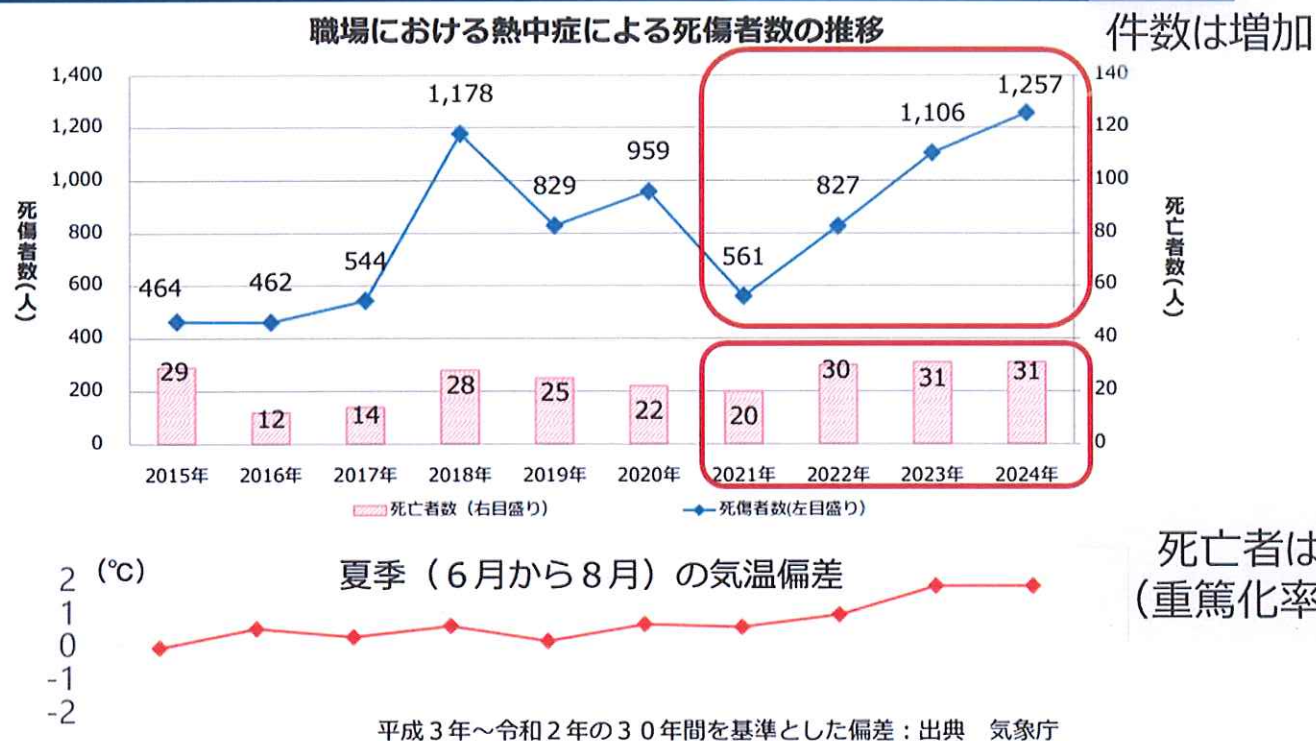
1. WBGT値が高い、風がない、日差しが強い場合は連続作業を短く、休憩をしっかりとろう
2. 与えられた熱中症対策品（タブレットや電動ファン付き作業服など）を確実に使おう
3. 連休後等は暑熱順化がリセットされるため、3日間は無理のない作業計画を立てよう



中部電力パワーグリッド

(参考) 日本の熱中症の災害発生状況 厚生労働省資料

夏季の気温と職場における熱中症の災害発生状況 (2015～)



出典: 2025年9月10日 労働安全衛生行政の動向 ～第84回全国産業安全衛生大会～